

2021年1月7日 蓼科山
メンバー：L岩田 小野木

冬山に慣れるとの目的で、夏にルートを通っている蓼科山登山を計画しました。今回は、小野木さんに参加いただき、途中ご指導いただきながらの有意義な山行となりました。ありがとうございます。

実施の判断について

日本海を低気圧が東進し、冬型になる直前の気圧配置でしたが、低気圧の移動速度から寒冷前線の長野県通過タイミングは午後になると読み、雪が降りだす前に下山できると判断し、早めの行動を心掛けたうえで実施しました。

AM6:45 女神茶屋駐車場より登山開始 駐車場には他に車なし。平日で天候が良くない予報だとこのくらいなのでしょう？ 登山道は土が見えない程度に雪があるものの、数日間降雪が無いようでトレースあり。トレースに従って登る。

途中平坦部と登り道を何度か繰り返すが、初めのうちはアイゼンなしで登る。

雪上には動物の足跡多数。鹿が多い様で皮がかじられた木も多い。しばらく行くと鹿の鳴き声が聞こえ、数頭が遠くの方を去って行った。

AM7:30 2113 三角点 ここでアイゼンを装着、小休止。

再度登り始めると雲は意外と高く、遠く編笠山や、茅野方面が見える。

最後の坂を登り、森林限界付近で装備を整え（ゴーグル装着）行動食。

AM9:00 森林限界を超え、蓼科山頂ヒュッテへ向けてのトラバースを少し歩くが、私的には初体験の強風。体を持っていかれるほどの風も一部吹く状況のため、撤退を決定。個人的には、少し強風体験ができ、強風下では、二重の手袋でもすぐに指が冷えるということがわかった。すぐに指が凍えたので、次回は強風下でオーバーミトンで防風することを試してみたい。



AM9:40 2113 三角点

撤退を決めた後はさっさと下山。途中日の差す瞬間もあり、樹林帯では風もなく快適。

途中、木の上に巣？あり。熊ではないと思うが、猛禽類にしては、サイズが大きく何の巣でしょうか？

AM10:40 女神茶屋着

